

# 報告

## 第4回医学部学生と女性医師の語る夕べ

—医師として生涯働き続けるために—

去る11月9日（金）旭川医大講義棟「第2実習室」において、「医師として生涯働き続けるために」をテーマに「第4回医学部学生と女性医師の語る夕べ」が開催された。

旭川市医師会女性医師部会の佐久間幹事の司会のもと、安藤部会長から「女性医師が働きやすい環境の一環として毎年行っている。リピーターも多く大変心強い。これには男性の理解が必須であり、これからも努力していきたい」との開会の言葉が述べられた。

続いて、当会の長瀬会長から「女性医師が、今後増えてくる状況下で、女性医師が生き生きと地域医療で活躍していくには、妊娠した時や出産・育児の面でサポート体制を整えるなど職場環境の整備・改善が重要となってくる。ことに、これから将来に向けて医師として就労していく女子医学生においては、さまざまな不安を抱えているのが実情であると思う。昨年、北海道医師会では、日本医師会男女共同参画委員会の主催により、札幌市・旭川市両医師会との共催で、道内3大学医師会の後援をいただき『医学生・医師による医療を考える合同懇談会』を開催し、医学生等からさまざまなご意見・要望を頂いた。今年度は、旭川市医師会女性医師部会にお願いし、この『語る夕べ』に、当会と日本医師会男女共同参画委員会とが共催という形を採らせていただいた」との挨拶があった。また、旭川市医師会後藤副会長、



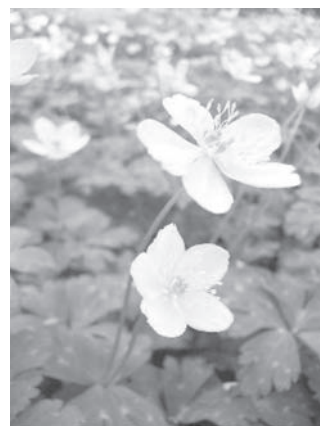
会場風景



長瀬会長挨拶

旭川医科大学飯塚副学長、北海道女性医師の会守内会長から、それぞれ挨拶がなされた後、講演に入った。

講演1では、「旭川医大におけるサポート体制“二輪草プラン”について」と題して、同大学病院副院長の油野民雄先生から、女性医師が働きやすい職場を確保するため、旭川医大が文部科学省の研究助成金を得て進めている“二輪草プラン”の方向性について語られた。なお、二輪草とは友情、協力の花言葉で、2輪の花は医師と看護師を表している。



二輪草

続いて、二輪草センター副センター長の山本明美先生から、復職・子育て・介護支援センター（略称「二輪草センター」）における潜在人材登録、就業情報の提供、学内24時間保育園、悩み相談等の内容と役割について話された。

講演2では、「女性医師のサポート体制の現状と問題点」と題して、旭川市医師会女性医師部会坂田葉子先生から、女性医師の現状と問題点、働き続けることの重要性、仕事と生活（家庭）の両立、いわゆるワーク・ライフ・バランスについて述べられた。

ここで、質疑応答が行なわれ一旦休憩を挟んだ後、医学生と女性医師とが小グループに分かれ、卒後の進路のこと、出産・育児のサポート体制、へき地医療や初期研修病院のことなど、さまざまな問題に関して懇談された。この輪に、当会の長瀬会長と藤井常任理事が加わった。

最後に、グループごとにまとめた結果を代表者が発表し、賑やかな雰囲気の中に長谷部女性医師部会副部会長の閉会の挨拶で終了した。参加者は59名であった。

—医療関連事業部—